

- CONTENTS -

- ・刑務所作業製品
管内製品開発コンクール開催！
- ・矯正施設所在自治体会議 九州地域
部会開催！
- ・ミッションチャレンジ2025
- ・戦火を乗り越えたたんす
- ・インタビュー 西南学院大学
- ・検証！再犯防止分野のステークホルダー



きょうせいだより

KYOUSEI DAYORI

No.42 R8.4

矯正を知ろう！再犯防止をもっと身近に！



きょうせいだよりってなに？

※
本誌は、地方公共団体や民間団体の皆さまに、法務省の再犯防止の取組や矯正施設のことなどを知ってもらいたいという思いを込めて配信するお便りです。日々の業務の合間に手に取ってご覧いただき、私たち矯正のことを少しでも身近な存在として感じていただけますと幸いです。

※矯正施設…犯罪や非行をした人に自らの罪を反省させるとともに、円滑に社会復帰できるよう内省を深めさせたり、訓練を行ったりする施設の総称。刑務所、少年刑務所、拘置所、少年院、少年鑑別所がある。

自由課題部門



一最優秀賞一

熊本刑務所
杉の子ども用机セット



向きを変えることで
色んな使い方ができるよ！



一優秀賞一

大分刑務所
匠ガラスペンセット



福岡刑務所
コンパクトコンロ



九州矯正管区では、毎年、当管区が管轄する施設を対象にして、刑務所作業製品の製品開発コンクールを開催しています。今年度は、指定課題部門を設け、**平時でも災害等の非常時でも使えるシームレス活用製品の開発にも取り組んでもらいました。**

刑務所作業製品 管内製品開発コンクール開催！

非常時は
ホイッスルに！

指定課題部門
一シームレス活用製品一



ひっくり返すと非常用トイレに！



一最優秀賞一

佐賀少年刑務所
防災レターケース



矯正施設所在自治体会議 九州地域部会が開催されました

本年2月27日、鳥栖市にある麓刑務所において、本会が開催されました。

九州矯正管区からは、昨年6月1日に創設された拘禁刑の説明や地方公共団体と刑務所との連携について話をさせていただきました。その後、地方公共団体からの取組説明が行われた後、麓刑務所における対話型施設参観が実施されました。

刑務所の現場の声と地域からの意見が交わされ、相互理解を深めるよい機会となりました。



◀地域部会議長である鳥栖市長による開会挨拶



対話の様子



◀刑務官



◀豊後大野市長

【矯正施設所在自治体会議とは】

矯正施設が所在する自治体の首長が構成員となり、積極的に地域における再犯防止施策等を推進することを目的として、情報交換、調査研究等を行うために設立された自治体主導の会議体のこと。

ミッションチャレンジ2025 熊本刑務所がグッドチャレンジ賞！



昨年9月13日、矯正行政のミッションに資する刑務所や少年院等の取組をコンテスト形式で発表する「ミッションチャレンジ2025」が開催され、熊本刑務所が最優秀のグッドチャレンジ賞を受賞しました。

熊本刑務所は「閉ざされた扉を取り払い、開かれた刑務所を目指す」と発表し、そのために、施設においても、社会とのつながりにおいても、**お互いを理解し歩み寄るための対話を続けていく**と決意を固めていました。

沖縄戦の戦火を乗り越えた 沖縄刑務所の刑務所作業製品のたんす

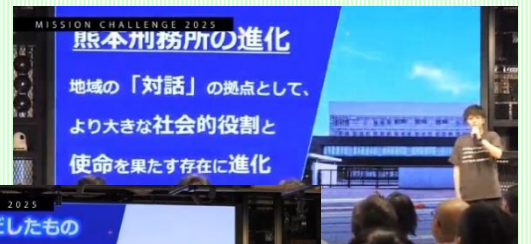
「捨てることになりそうで胸が痛くなります。引き取ってもらえればうれしいです。」

昨年10月、沖縄刑務所に一人の女性から手紙が届きました。女性の母親（生きていれば1ー5歳の嫁入り道具として作ってもらったたんすが、昭和8〜9年頃に**沖縄刑務所で製作されたもので**、それを引き継ぐ人がいないため、沖縄刑務所で引き取ってもらえないかという内容でした。戦争中は、那覇から国頭村奥間に移され、沖縄戦の戦火を乗り越えることができませんでした。

そのたんすが時を超えて沖縄刑務所に戻ってきました。



昨年12月に沖縄コンベンションセンターで行われた九州矯正展でもたんすを展示しました。



知識の浅さに気づいて、とても悔しかったです。

野口…登壇者はどうやって決めましたか。

山口…挙手制でした。私は、ゼミではいくつかグループに分かれて勉強したので、他のグループの人と話してみたいという気持ちがあつて手を挙げました。

大宅…私は知識不足がネックだったので、登壇して他人の考えを知り、視野を広げたいと思つて手を挙げました。

野口…シンポジウムを通じて何か考えの変化などはありましたか。

山口…変化というか、法律を考える上で、感情をどう分離するかをすごく考えました。

受刑者のことを考えるときに、被害者のことも考えなければなりません。私もできた人間ではないので、もし自分が被害者の立場になったら、加害者のことはすごく憎むと思うんです。でも、今の私は被害者でも加害者でもない**第3者**の立場で、その**第3者の立場**であるからこそ考えられることもあると思います。その第

「刑務所だけでなく、社会も変化していかなければならない」

3者の立場から考えると、新たな被害者を生まないためには、加害者に対する支援も必要だと思いました。

大宅…以前は座学が中心で、教科書に書いてあることを覚えるだけだったんですが、それが現場でどう生かされているかなどをフィールドワークで楽しく学べたので、もっと勉強をして、どうしたら社会を良くしていけるかを考えることが楽しくなりました。

野口…トークセッションでは、「学生の視点から考える拘禁刑」というテーマで登壇してもらいましたが、福永ゼミでは具体的にどのような意見で交わりましたか。

山口…私のグループでは、受

刑者をどれだけ更生させることができるかということを考えたとき、「刑務所の変化だけでは無理」という結論に至りました。どれだけ刑務所で良い指導を行ったとしても、

出所後の社会が出所者に心を閉ざしていたら、孤立し、再犯してしまうと思います。だから、**社会も変化していかなければならない**と話しました。

大宅…拘禁刑下の取組は、現場で勤務する刑務官の負担が大きいだろうと話しました。あとは、社会の人たちの差別をどうにかしてなくしていかなければならないと話しました。

野口…福永教授はシンポジウムを振り返っていかがですか。

福永…今回、学生たちは本当によくやったと思つています。特に2年生は刑法しか学んでおらず、刑事政策はほとんど勉強していない段階で、本当にゼロからのスタートでしたから、無事にシンポジウムを終えることができてホツとしています。ここまで自分の考えを言えるようになったのは、本当に大きな成果です。



私個人としても、シンポジウムを共催することになってから、再犯防止についてひと通り考えましたが、自分が思いつかなかったことを学生が発表したりして、勉強になりました。先ほどインタビューで、「やって楽しかった」と話してくれたことがうれしかったです。本来、勉強は楽しいものですから。今回、深く学んでいくにつれ、「正しい答えがない」ことが分かったと思います。だからこそ学ぶことは楽しいんです。

私はいつもゼミ生たちに、「ゼミは学生のものだ」と話して、自分たちでどう作っていくかを考えさせるようにしています。私は彼らの成長の手伝いをするだけです。

検証!

広がりを見せる
再犯防止分野の
ステークホルダー



令和5年3月閣議決定された第二次再犯防止推進計画では、7つの重点課題が掲げられており、その中の一つに「民間協力者の活動の促進等のための取組」があります。

再犯防止のためには、刑事司法手続が進行中の段階だけでなく、終了後においても民間協力者の活動が必ず不可欠であり、これまでも、多くの民間協力者の方々の御協力に支えられてきました。近年、再犯防止分野における民間協力者の役割の重要性がますます大きくなっており、民間企業等をはじめとした、より多様な関係者（ステークホルダー）が参画する事例が増えていきます。

令和7年版再犯防止推進白書では、再犯防止分野に新たに参画していただいている企業及び団体の先駆的な取組や今後の展望が紹介されています。本誌ではその内容を簡単に御紹介いたします。詳細につきましては、令和7年版再犯防止推進白書をご覧ください（法務省ホームページに掲載されています）。

丸善雄松堂株式会社

広報・啓発

※他社から刑務所のサウンディング調査に來ないかと誘われたことをきっかけに、罪を犯した人たちの立ち直りに貢献できることはないかと考えるようになりしました。その後、法務省保護局に相談し、「社会を明るくする運動」の強調月間である7月に、同社が指定管理者として運営する全国の図書館やグループ企業の店舗において同運動のポスターを掲示したり、再犯防止に関するシンポジウムを法務省と共催で開催するなどの活動につながりました。

一般社団法人 Arc & Beyond

教育プログラムの提供

同法人はソニーグループ株式会社の社員たちによって設立された団体で、再犯防止分野においては、ソニーのプログラミングツール「MESH」TM※2を活用した教育プログラムを全国の少年院で展開しています。MESHを活用した授業を通じて、社会の中で自立していくために必要な、自ら学んでいくという姿勢を身に付けることにつながる可能性が見えてきています。同法人は今後、社会の側でも、少年たちが学び続ける場や、働き続けられるなどの活躍できる場を創っていきたいと考えています。

株式会社 日本政策投資銀行

資金提供

同行は、令和3年度から令和5年度まで、法務省が実施した民間資金を活用した成果連動型民間委託契約方式（Pay For Success）による非行少年への学習支援事業（法務省ソーシャル・インパクト・ボンド事業）において、資金提供者として関与しました。金融機関としての立場から諸々の助言を行ったり、事業実施中に定期的に行われていたプロジェクトチェックや月に複数回ある事業のモニタリングにも能動的に参加していました。

静岡市

ステークホルダーの輪の拡大

静岡市では、再犯防止分野に理解のある市民を増やすことを目的として、令和5年度から「再犯防止に関する支援者養成講座」を実施しています。講座終了時に、再犯防止の推進に携わりたいと希望していただいた方には、静岡市が「静岡市再犯防止推進員」に任命し、満期釈放者や起訴猶予処分などで保護観察が付かない人等を対象に、支援機関につなぐための最初の支援をサポートしていただいています。

※1 サウンディング調査…国や地方公共団体が所有する土地や施設の活用方法について、民間事業者との意見交換等を通じ、事業に対して様々なアイデアや意見を把握する調査。マーケットサウンディングともいう。
 ※2 MESH…専門知識がなくてもセンサーやプログラミングによって仕組みをつくることのできるツールであり、全国の学校教育や人材育成に活用されている。

質問やご意見、取り上げてほしい事項などありましたら、当課までお気軽にご連絡ください。

お問合せ先

九州矯正管区 更生支援企画課 福岡市東区若宮5丁目3番53号
 TEL:092-661-1143 (直通) FAX:092-663-1001
 MAIL: i.kyuushuukyouse.ga0@i.moj.go.jp

